



いろとりどりのバラが咲き揃う冬鳥越スキーガーデンバラ園

主な内容

- 小池清彦市長の市政報告……………25
 - ・県立加茂病院の
診療機能の充実について…25
- シエナ・ウインド・オーケストラ
演奏会前売券好評発売中……………6
- 歯の健康……………7
- 加茂の風土記……………8

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

市政報告

加茂市長 小池 清彦

県立加茂病院の診療機能の充実に ついて

県は、昨年十月、それまで閉鎖されていた二階の病棟を再開するとともに、昨年常勤医師五名を六名に増員し、非常勤医師五名を増員いたしました。そして、さらにこのたび新潟県は、県立加茂病院の診療機能の充実に図り、地域密着型の二次医療モデル病院を目指すことになりました。

このため県は、その手始めとして、本年四月

一、加茂病院に総合診療科を設置して、そこに二名の医師を新たに配置いたしました。

この二名の医師は、竹中幸治先生（内科、整形外科、麻酔科専門）と本間英之先生（外科、緩和ケア科専門）であります。

二、さらに県立リウマチセンターのリウマチ科部長の伊藤聡先生（内科、リウマチ科（膠原病）専門）がとりあえず月一回程度、加茂病院においてになり、リウマチや膠原病の治療に当たられることになりました。

県の御尽力の結果、加茂病院では、本年六月三日現在、

総合診療科の竹中幸治先生、本間英之先生
内科の高橋芳右病院長先生、樋口哲也先生

外科の竹石利之先生

整形外科の星野賢一先生

という六人の常勤の名医が揃われることになりました。(昨年末以来二名の医師が転出されたため、常勤医の人数は、とりあえず六人です。)

この六人の先生方は、いずれも一騎当千の名医であられます。

さらに加茂病院では、前述のリウマチ科(膠原病)の伊藤聡先生をはじめ、非常勤の優れた先生方がリウマチ科(膠原病)、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、神経内科を担当されるとともに、前述の六人の常勤医師の先生方をもバックアップされる態勢がとられることとなりました。

このようにして、加茂病院では、現在、極めて充実した態勢がとられることになっております。

県は、今後とも、加茂病院のさらなる充実を図ることとしておられます。

泉田知事さん、江口病院局長、久保田病院局長、関川病院局業務課長をはじめ、関係の方々の御卓見と御尽力に心から感謝申し上げます。

このように加茂病院は、格段に充実されることになりましたが、一方、県当局の加茂市長に対する御約束は、常勤医師十三名でありました。

従いまして、私といたしましては、県当局に感謝申し上げながら、加茂病院のさらなる充実を要望し続けていく決意であります。

また、私は、脳梗塞と脳梗塞の部位の発見に欠かせない機器であるMRIを加茂病院にお入れになるよう要望し続けてまいりましたが、このたび県の病院局は、私に対し、できるだけ早く加茂病院に待望のMRIを入れる所存である旨を表明されたところであります。

なお、このたびの加茂病院の充実について、私に渡された、県の病院局の文書を次に掲げます。

加茂病院の取組について

平成 22 年 4 月 1 日

新潟県病院局

県立加茂病院は診療機能の充実を図り、地域密着型の二次医療モデル病院を目指します。

1 中期的な取組方針の方向

- (1) 地域医療提供体制の充実強化
- (2) 総合診療科の設置
- (3) 特殊診療機能や特定疾患診療機能の充実 他

2 具体的な取組【新年度、常勤医師 2 名・非常勤医師 1 名を確保】

(1) 総合診療科の設置

平成22年 4 月～ 総合診療科常勤医師 2 名を確保

※ 緩和ケア部門も開設

(がんセンター新潟病院の緩和ケア科等と連携して実施)

(2) 特定疾患外来の設置〔膠原病(シェーグレン症候群等)に対応〕

平成22年 4 月～ 膠原病診療非常勤医師 1 名を確保

※ 当面月 1 回程度の外来診療

(リウマチセンターのサテライトクリニック体制の中に位置付けて、同センター常勤医師を派遣)

加茂病院 H22年度採用医師について

H22.4.5 病院局

1 常勤医師

① 総合診療科部長

氏名 竹中 幸治（たけなか ゆきはる）（45）
出身大学 福岡大学医学部
前勤務地 静岡県わかばクリニック
専門診療科 内科、整形外科、麻酔科

② 総合診療科部長

氏名 本間 英之（ほんま ひでゆき）（40）
出身大学 自治医科大学
前勤務地 白根大通病院
専門診療科 外科、緩和ケア科

2 非常勤医師（月1回程度）

○ 県立リウマチセンターリウマチ科部長

氏名 伊藤 聡（いとう さとし）（49）
出身大学 新潟大学大学院
前勤務地 筑波大学大学院 准教授
専門診療科 内科、リウマチ科（膠原病）

シエナ・ウィンド・オーケストラ演奏会

10月23日(土) 午後3時開演



1990年に結成されたプロフェッショナルのウィンド・オーケストラ。現在、東京を本拠地に演奏活動をしており、定期演奏会のほか全国各地での音楽祭やイベントへの参加、また音楽鑑賞教室等の青少年育成事業等への出演などで活躍している。またオーケストラ編成による演奏のみならず、管楽器の特色を生かした多様なアンサンブルユニットによるコンサートや管楽器クリニック等の活動も積極的に展開しており、日本を代表するウィンド・オーケストラとして、国内吹奏楽愛好家の先頭に立つフラッグシップオーケストラとして高い人気を誇っている。

加茂文化会館

全席指定

S席5,000円 A席4,000円

(学生 S席4,500円 A席3,500円)

※当日各500円増

未就学児の入場はご遠慮ください

プレイガイド

ミュージックショップ・アベ ☎52-1999 小池めがね ☎52-2321

市民サービスセンター ☎53-1180 加茂文化会館 ☎53-0842

主催：加茂市 後援：新潟県吹奏楽連盟 助成：(材)地域創造

お問い合わせ 加茂文化会館 ☎53-0842



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。



- ◆永久歯が生えてこない？
- ◆乳歯がグラグラ 抜いてもいい？
- ◆永久歯と乳歯が重なったけど？
- ◆歯並びが心配..

六カ月以上たっても生えてこない場合は歯科医院でレントゲン写真を撮ってもらいましょう。そのままの状態が長期にわたると、歯のない部分を舌で押さえて発音するなど、舌に悪い癖がつかめます。

Q 乳歯がグラグラしたら、自分で抜いてしまってもいい？

A 子どもが嫌がらなければ抜いても大丈夫。

生えかわりでグラグラしている場合、子どもが嫌がらなければ自分で抜いても問題ありません。但しグラグラしているのが「転んで打った」などの外傷である場合、固定したりする必要があります。

Q 永久歯が乳歯の内側に生えてきました。

A 歯科医院で乳歯を抜いてもらったほうがいいです。

本来永久歯は、乳歯の根を溶かして押し出すように生えてくるものです。時々乳歯が残っている内に永久歯が生えてくる場合があります。

ます。こうなると乳歯が自然に抜けることは少ないので抜いてもらった方がいいでしょう。乳歯が無くなれば永久歯は舌などで押されて前に出てくるので歯並びの問題にはなりません。

Q 永久歯の前歯が「ハ」の字型に生えてきました、このまますきっ歯になる？

A 通常は犬歯が生えれば自然にまっすぐになります。

上あごの前歯は外側に向かって生えるために、少々みつももない印象になります。でも大丈夫。あとから生えてくる犬歯が側方から押ししてくれるので、正しい向きに修正されます。

Q 永久歯の前歯二本の両隣の歯がその後ろ側に生えていきます。

A 叢生(そうせい)になっていきます。歯科医に相談を。

あごのスペースが狭いために永久歯が生える場所を確保できなかつたのでしよう。正しい位置に並ぶためには矯正が必要かもしれません。

歯並び・生えかわりのQ&A

Q 乳歯が抜けたのに永久歯が生えてきませんか。大丈夫？

A 六カ月たっても生えない場合には歯科医院で検査を。

永久歯の歯根の成長が遅れている、あごが狭くて永久歯が出てくられない、永久歯がない：など色々な理由が考えられますので、

歯つぴいスマイル開催

毎年、歯の衛生週間に合わせて歯つぴいスマイルが六月六日、市役所市民ロビーを会場に行われました。加茂市歯科医師会による歯科健診やフッ素塗布、食育、手づくりおもちゃの各コーナーには大勢の方でにぎわいました。人気のカモレンジャーショーでは、歯の健康は歯みがきからと子供たちにアピールしてくれました。



(加茂市歯科医師会)

文明開化期の加茂(1)

加茂山公園の誕生

青海神社境内に広がる加茂山公園は、多くの人が散策に訪れる加茂の名所地である。だが、古来、神社境内は神域であり、汚れを入れてはならない聖なる地とされてきた。明治維新で外国人が新潟の地にもやってくるようになった明治三年(一八七〇)正月、「異国人の対応に失礼のないように」という通達を受けた加茂社(現青海神社)は、異国人は「肉食不浄の

輩」だとして鳥居内に入ることを禁じてきたが、もし参拝を申し出たらどうしたらよいかと、県に問い合わせた。「攘夷」を主張してきた倒幕派が、戊辰戦争で勝利するや、手のひらを返したように「開国和親」策を進めることに、とまどいを表明しているのであるが、肉食で汚れを身につけている欧米人は境内に入れないという考えがうかがえる。

加茂の風土記



弘化三年(1846)の青海神社境内絵図。
右側中央は現在の御神池であろう。

明治五年に新潟県知事となった楠本正隆が文明開化策の一環として、新潟町に誰もが自由に出入りできる我が国最初の公園を開設したことが知られている(現白山公園)。青海神社は明治五年に「県社」という高い格式を与えられ、同八年に火災で社殿を焼失するも、翌々十年に新しい社殿が竣工した。その遷宮式などには大勢の人々が押し寄せ、「加茂町開闢以来の賑わい」だったという(明治十年十月十二日付「新潟新聞」)。

こうした時流を背景に、明治十二年に加茂町の医師二階堂保則らの有志が資金を拠出して、「諸人の遊覧に供せん」との目的で、青海神社境内地の整備を行った。「新潟新聞」は、藪同然だった土地を平らに削ったり、林泉や沼地を掘ったりして、四季の花弁や数十本の桜の木を植えたので、春の開花期が楽しみだと書いている(「加茂市史」資料編 近現代 No.82)。写真で示した幕末期の青海神社境内絵図にも見える、三つの沼地一帯を整備したものと考えられ、加茂山公園の始まりということになる。

(溝口敏彦)

加茂川一斉清掃(6月6日)

大勢の皆さんからご協力いただきありがとうございます。



人口のうごき

6月1日現在
世帯 10,147 (+12)
人口 30,789 (-17)
男 14,876 (+2)
女 15,913 (-19)
()内は前月比
(5月異動分)
出生 16 (男13女3)
死亡 40 (男20女20)
転出 33 転入 40